

年末年始・春節における 家畜防疫対策の徹底について

これから年末年始や旧正月（中国では春節）の時期を迎え、人の移動が活発になることから、引き続き、家畜伝染病の病原体の侵入防止のため、防疫対策を徹底する必要があります。

家畜飼養者の皆様は、発生地への渡航を自粛し、農場入場者の渡航歴を確認していただくとともに、飼養衛生管理基準を遵守し、気を引き締めて防疫対策の徹底をお願いします。

高病原性鳥インフルエンザは、今シーズンこれまでに最も早い発生が確認され、国内どこで発生してもおかしくない状況です。豚熱は、国内での野生いのししの感染区域が広がっており、警戒が必要です。ランピースキン病も感染区域の拡大が懸念される状況です。また、アフリカ豚熱、口蹄疫等についても近隣諸国での発生が続いており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。

○ 海外への渡航自粛

畜産関係者等のアフリカ豚熱、口蹄疫等の発地域への不要不急の渡航は自粛願います。

技能実習生等の外国人従業員がいる場合、海外から肉製品等が郵送されることのないよう、注意喚起をお願いします。

○ 衛生管理区域への病原体侵入防止

衛生管理区域に必要な人を入らせず、また不要なものを持ち込ませないようにしてください。万一、人が立ち入る場合や物が持ち込まれる場合は、**洗浄・消毒等の実施を徹底**し、衛生管理区域へ病原体を持ち込まないようにしてください。野生動物の侵入防止のため防護柵、防鳥ネット、畜舎の破損等再点検を行い、不備がある場合には補修を行ってください。

○ 早期発見・早期通報の徹底

家畜にアフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の特定症状やランピースキン病を疑う症状を認めたときは速やかに当所に連絡してください。



家畜に異状を認めたら、直ちに当所まで連絡をお願いします！

京都府南丹家畜保健衛生所 TEL 0771-42-3308(夜間・休日は転送されます)